



## 兵庫支部NEWS H16 9月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭

ホームページhttp://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール:nagoshihideaki@yahoo.co.jp

購読料 12回1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

## 第22回三金ゴルフ開催

於よみうりパブリックコース

優勝は中尾清光氏(44経営)



(前左から吉本、山本、安徳、平間、後列左から、松山、河野、後藤、真島、中尾、井上、謝)

第22回三金ゴルフは、台風一過、曇り空ながら、絶好のゴルフ日和に恵まれ、9月1日(水)よみうりパブリックコースにて、11名が参加して開催された。

久々に参加した中尾清光氏(44経営)が、念願の初優勝を遂げ、準優勝は山本信司氏(37米英)3位には河野旺生氏(36商)となった。

この度の会場は、大村実良事務局長から下関商業の後輩である中本義夫氏が支配人をされている「よみうりパブリックコース」を紹介され、開催する事になったものであるが、色々な特典をつけていただいた上に数々のショットを撮影していただき、記念写真とともに成績表をラミネート加工して全員に渡して頂くなど大変お世話になりました。

また奇遇にも山室寛之社長のご祖父が北九州大学初代学長の大島先生であると聞き、社長室に伺い、学長にまつわる話を懐かしくお聞きしました。

表彰式の席上では、次回(3月下旬予定)は四国で開催しようということとなり、「歩こう会」「囲碁の会」メンバーにも参加呼びかけすることになり、河野氏がコース選定を引き受けることになった。

最後にいつもドイツビールの景品を寄贈して頂いている二宮さん、今回よみうりのサービス券を提供していただき、その差額分を表彰で使わせて頂いた河野さん、有り難うございました。(三金ゴルフ会長安徳信義)

## 第22回三金ゴルフ成績表

| 順位  | 参加者名 | 卒年  | アウト | イン | グロス | ハンデ | ネット |
|-----|------|-----|-----|----|-----|-----|-----|
| 優勝  | 中尾清光 | S44 | 48  | 43 | 91  | 24  | 67  |
| 準優勝 | 山本信司 | S37 | 48  | 41 | 89  | 14  | 75  |
| 3位  | 河野旺生 | S36 | 50  | 48 | 98  | 14  | 84  |
| 4位  | 後藤公一 | S38 | 55  | 48 | 103 | 18  | 85  |
| 5位  | 井上隆令 | ゲスト | 49  | 49 | 98  | 11  | 87  |
| 6位  | 安徳信義 | S44 | 50  | 54 | 104 | 17  | 87  |
| 7位  | 平間正昭 | S37 | 57  | 56 | 113 | 24  | 89  |
| 8位  | 真島秀幸 | S48 | 61  | 59 | 120 | 30  | 90  |
| 9位  | 謝美華  | ゲスト | 56  | 59 | 115 | 19  | 96  |
| 10位 | 吉本富雄 | S39 | 66  | 67 | 133 | 36  | 97  |
| 11位 | 松山仁  | S44 | 67  | 58 | 125 | 20  | 105 |

## 優勝者中尾氏談

久しぶりの参加でしたが、一緒にプレーして頂きました吉本・後藤両先輩、美人キャディの藤田さん、各ホールきれいにセパレートされた素晴らしいコース、さらに度重なるラッキーのお陰で、本当に楽しい一日を過ごすことができました。誠に有り難うございました。

実は、小生4月の健康診断で胃に4cm大の筋腫が見つかり、その後数々の精密検査の結果、肥大化、悪性化の恐れがあるため、9月27日に除去手術をします。

手術前の不安心理の払拭と、術後は、暫くゴルフはできないということもあって、なるべく時間があれば、コースに出るように心掛け、数えてみましたら8月は11回コースに出ていました。そのお陰で、特にアプローチがうまくゆき、今回のスコアに結びついたのでと思います。

人間万事塞翁馬と申しますが、一見避け様のない災難に出会っても、受け取り方を上手にして、感謝することですね。

重ねて、有り難うございました。



(朝のスタート前のミーティング)

損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村実良  
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8318



《自然木 高級檜造りの家》

増改築・新築・不動産全般

S 株式会社瀬戸内ホーム

代表 永翁正臣  
(昭和41年 商学部卒)

〒671-1103

姫路市広畑区西夢前台6丁目2番地

Tel. 0792-36-0833

Fax. 0792-36-0905



**兵庫支部月例会8月「三金会」報告**

8月20日(金)午後6時から「フリージア」にて開催。出席者9名

出席者：大村実良(33商)伊藤互(35商)高尾巖(36商)平間正昭(37米英)名越英昭(37米英)二宮慶治郎(38米英)銭谷勘一郎(39米英)安徳信義(44商)榎林繁(60経済)

**1. 本部総会パンフ広告出稿について**

E-mail, Faxにて全役員に連絡し、別紙広告案にて出稿決定。A4版1/2ページ、広告料：1万5千円

**2. 本部総会・懇親会会員券について**

支部長宛3枚、評議員宛3枚の引き受け依頼あり支部長、評議員およびひまわりの会出席者の3枚を除く、3枚について参加希望者があれば、会員券代金(5000円)は支部負担とする。但し交通費、宿泊費等は自己負担となる。参加希望者を9月20日期限で募る。

**3. ひまわりの会出席者について**

今年の総会出席者の中から、出席できる人を選ぶこととし、安徳副支部長がアレンジする。(飯星あい氏、H13中国専攻、が出席と決定)

**4. 本部総会等の日程について**

10月2日(土)評議会、支部長会、ひまわりの会  
10月3日(日)11時～総会、12時～懇親会  
会費：5,000円

**5. 第22回三金ゴルフについて**

9月1日(水)よみうりパブリックコースにて開催  
参加予定者11名(うちゲスト2名)

**6. 歩こう会8月オフ会一熊野古道散策**

8月8日(日)実施、参加者21名(同窓生11名、同夫人2名、ゲスト8名)

**7. 囲碁の会、関西支部との交流会**

9月25日(土)13:00より、大阪梅田「刻(トキ)」にて開催予定。

**同窓会活動功労者被表彰者に三宅幹事を推薦**

本部総会席上で表彰される同窓会活動功労者被表彰者として、三宅隆志氏(59中国)が兵庫支部から推薦されることになった。同氏は兵庫支部発足当時から、支部活動に参加し、H10年6月幹事に就任し現在に至る。幹事に就任以前から、総会・忘年会開催の世話役を引き受け、若手会員のリーダーとして兵庫支部活動に多大な貢献をされている。9月の本部での表彰委員会で正式に決定される見込み。

**北友会ニュース第14号より****平成16年度第4回役員会**

平成16年7月17日宗像市玄海ロイヤルホテルにて、新旧役員歓送迎会を兼ねて開催。

**山下会長挨拶**

前回の役員会是新役員との初顔合わせだったが、その後のブロック毎の会議で、新役員も同窓会全体の動きを多少理解の筈。役員会では全役員が忌憚のない意見を言う場であり、どしどし意見を述べてほしい。

**各ブロック会議報告**

[総務]担当を決め、運営方法、議題等を協議

[広報・情報]北友会会報、北友会ニュース継続発行確認。

同窓会の理念やコンセプトを改めて話し合い、見ておもしろい、為になるHP作成を図る。

[組織]1県1支部について協議、千葉支部設置予定について確認。福岡県内13支部の統合や無支部県の支部設置について協議。2年に1回以上の支部総会開催がされていない支部があり、本部の指導について協議

**体育会OB連合会への助成について**

15年度に30万円を助成、16年度も同額の助成依頼あり。決算書及び事業内容検討の上決定することになっており、15年度の決算書により、総務ブロックが金額等を協議する。

**「応援団50年史」作成への助成について**

平成19年に迎える創団50周年を記念して「応援団50年史」の作成予定。総額300万円、うち50万円を同窓会からの助成を要望。各サークルとも50年を迎える・・・、同窓会の助成なしで40年史、50年史を作成したところもあり・・・、50万円は高すぎるのでは・・・等の意見あり。総務ブロックにて検討する。

**中国語会話研究会への褒賞金について**

6月26日九産大にて開催の「2004年度五星奨～全西日本大学生中国語コンテスト」で中村今日子さんが暗誦の部で2位となり、同研究会に15万円の褒賞金贈呈。

**平成15年度支部還元金について**

15年度の完納者367人、総額6,743,410円  
会費納入促進運動期間中の支部還元金70%は支払済  
15年度の完納者最多支部は東京36人、福岡34人、小倉33人、八幡31人、宇部27人。

報告事項：鹿児島支部総会(6/5)兵庫支部総会(6/20)

外国人留学生後援会(6/22)硬式野球部「感謝の夕べ」(6/30)各出席者より報告。

全国大会出場の野球部に同窓会から100万円、各支部及び同窓生から約500万円の寄付あり。

総経費約1700万円

**平成16年度第5回役員会**

8月23日同窓会館にて開催。出席者18人

**体育会OB連合会への支援金について**

総務ブロックで検討結果、15年度と同額30万円を支援決定。16年度決算書の提出条件。

**応援団50年史への助成について**

総務ブロックで検討結果、広告料名目で10万円を助成することに決定

**同窓会が行う援助・助成の基準案作成について**

基準案作成が必要との意見もあったが、基準案だけでは対応出来ない事も考えられ、同窓会内部で前例を集め内規のようなものを作り、その都度検討することとなる。

**事務処理コンピュータ化検討委員会の答申について**

委員会(委員長中村豊三郎、前幹事)の答申にそって総務、広報・情報グループが中心になって具体的に検討する。

**第54回総会、前日の3会議の次第について**

上記会議での報告事項や議案など大まかな次第について話し合い、具体的には次回役員会で決定する。

報告事項：豊前・築上、福岡県南、門司、島根、岡山、津山の各支部総会、オックスフォード大学・仁川大学留学生のフェアウェルパーティー、国際交流基金理事会等の出席報告

**北九大新学長に矢田氏内定**

平成17年4月に、独立行政法人化される北九州市立大学の最初の学長(予定者)は矢田俊文氏(九州大学名誉教授、前同副学長)に決定した。任期4年。

平成17年4月1日付で法人理事長が任命する。それまで「北九州市立大学法人設立準備委員会」の委員として、法人化に向けた準備に参画する。

矢田氏は1941年2月6日生(63歳)新潟県出身、理学博士1971年東京大学大学院修了、1982年九州大学教授、1997年同副学長、2004年同名誉教授  
副学長時代、大学改革やキャンパス移転を担当。北九州市の地域構想や政策プラン作りなどに手腕を発揮。



## 今や時の人に

高森千賀子 (44米英)

カジュラホはインドの中央あたりに位置するマディヤ・プラデーシュという州の中にある。この州全体と隣接の州の一部でも読まれている大きい新聞の第一面に、カラー写真と共にメダカ小学校と私のことが紹介された。この新聞の読者数は1500万人以上で、読者からの手紙が何通か届いた。

この新聞の発刊直後に、今度は地元の小さい新聞が私の中傷記事を載せた。「外国人がインドの貧困をエサにして寄付金を集め、それを自分のポケットマネーとして流用している」というタイトルだ。「6百万円もの多額の寄付金を、学校建設という名目で収集して、それで自分の家を建てた」とある。それから読者の方々は記憶されていますか？ 韓国人女性がドラッグで幻覚をおこし、危険になったため、警官2人と彼女を韓国大使館に送還したことを。その時の経費を大使館からもらい、それもポケットマネーにしたとある。私はそれ以上の額を費やしたが、少なく請求したし、経費を貰ったのは当然だ。警官2人も経費受領の書類にサインをしている。その他にも嘘の作り話をして、私の名前をこれでもかというほど、何度も繰り返し書いて読者に悪印象を与えようとしているのが見え見えだ。

新聞は公正な立場で書くべきなのに、事実を調べもせず、証拠もなしに、このような記事を平気で書く。これは明らかに名誉毀損だ。誰が書いたのかは想像がついている。

また、この新聞と前後して、Kという男性が私のことを警察に告訴したため、警官が学校に調査に来た。告訴の内容がこれまた事実無根の話で、「マダム(私のこと)は僕を学校の用務員として、3月～5月まで雇ったが、給料を一部しか支払ってくれない」というものだ。3月はともかく、4月～5月は学校は休暇だ。彼は学校に来たこともないし、私は彼を勿論雇ってもない。調べればすぐ判るこんな見え透いたウソなので、警官は「心配しなくても大丈夫」と笑いながら帰って行った。

このKは、1年前に私に「デリーで携帯電話を購入してきてくれ。代金は後で渡すから」と頼んだ。それで買って来たのに、代金4000ルピー(1ルピー=7円)をくれない。催促すると、「お金がないのにどうして支払えるか」とこうきた。皆さんは「それならどうして購入を依頼したのだ」と言いたいだろう。実際、私も彼にそう言った。何ヶ月も支払わず、私が何度も請求すると、「来週に」とか「今月末に」と、その場しのぎの返答をして、全く払う気がない。私はついに業を煮やして、警官に告訴することにした。その告訴の直前にKは前述の、私のことを警察に告訴したのだ。

また、Kの兄は、私の中傷記事を載せた新聞社のジャーナリストだ。(次号につづく)

## 山での歩き方と行動 - その5 -

歩こう会顧問 藤田博保 (35商)

## ハイキングの服装と装備

## 服装と登山靴

**帽子** 日除けや防寒が主な目的ですが、頭を木や岩から保護したり、雨具を着用したときに、フードの前部が垂れて、見えにくくなるのを防ぐのに役立ちます。冬は耳まで覆えるものが良いでしょう。

## ウェア

1. 上着 腕の虫刺され、日焼け、切り傷から保護

するため、夏でも必ず半袖ではなく長袖のスポーツシャツを持参しましょう。登山口までは、半袖のTシャツ等でも構いません。素材は夏は乾きやすい麻、テトロンあるいは混紡のもの、冬には防寒の為、ウールのものが良いでしょう。

2. 肌着 汗の吸収がよく、乾きやすい素材のものが出来ています。

3. ズボン 上着と同様、足の保護のため長いズボンがよく、ショートパンツは不適です。膝の屈伸や着るウェアを考え、ゆとりのあるサイズを選びましょう。

**登山靴** 布製と革製がありますが、冬季以外は布製靴で十分です。積雪や霜のある季節や雪渓、岩場の予想される高山に登る場合は革製登山靴の方が安全です。靴のサイズは、靴下を履いて、つま先までぴったりとつけて、かかとの部分に指一本が楽に入るものを選びましょう。

**靴下** 布製登山靴の内側は柔らかく作られているので、靴下は一枚履けば十分です。革製登山靴の場合は保護と防寒のため薄手のものの上に厚手(毛糸)の靴下を重ねて履きます。

**手袋** 夏には軍手ですが、秋から春までは毛糸のものをもちます。

## 装備

## ザック

日帰りや小屋泊り用には25-30リッター程度の大きさのアタックザックを使用。小型のデイバッグでは必需品さえ、ゆとりをもって入れることは出来ません。ザックへの物の詰め方(パッキング)は背負いやすいよう形を整えることが基本ですが、歩行中に使うものは、上の方に入れておきます。

## 雨具

ゴアテックスのレインウェアが防水性と通気性を兼ね備えている点で優れています。市販されているものの特徴は上下セパレートでズボンの裾にファスナーが付き、脱着が便利です。ポンチョも大きいザックを背負っている場合有効ですが、最近ではザックカバーが用いられるようになり、昔ながらのポンチョスタイルは見かけることが少なくなりました。

## 2004年九州六大学秋季リーグ戦

## 福岡大3連勝、北九大2勝1敗

秋季リーグ戦は第3週を終わって、福岡大が3連勝し、2勝1敗の北九大、九国大、久留米大が追う展開となっている。北九大はエース中田賢一の不調が響き第3週九国大戦で星をおとし、連覇に黄信号。戦績は下記

8.21 北九大3-1西南大、久留米3-2九国大、福岡大4-0九大 [北九大]○甲斐(1勝)一梶原

8.22 北九大9-0西南大、久留米4-3九国大、福岡大13-1九大 [北九大]○馬場(1勝)中田一梶原

8.28 北九大5-1九大、福岡大5-3久留米、九国大8x-7西南大 [北九大]○甲斐(2勝)山内貴一梶原

8.29 北九大15-3九大、福岡大4-3久留米、九国大20-2西南大 [北九大]○馬場(2勝)岡田、行村、中田一梶原

9.02 北九大2-3九国大、福岡大2-0西南大、久留米3-1九大 [北九大]●甲斐(2勝1敗)一梶原

9.03 北九大6-7九国大、福岡大9-6西南大、久留米6-3九大 [北九大]●中田(1敗)甲斐一梶原

残りの日程は下記の通り

9.25/26 北九大-久留米、福岡大-九国大、西南大-九大

10.3/4 北九大-福岡大、久留米-西南大、九国大-九大

頑張り北九大!!



# 熊野古道散策雑記

松浦 剛(48経営)

「歩こう会」のメンバー20名と、他の何組かの参加者を乗せた観光バスは、大阪を7時過ぎに出発。途中で2度の休憩をはさみつつ、高速道路を南下。海南インターチェンジで高速道路を下り、地道を走って、出発からおよそ4時間余りで熊野の目的地に到着する。

バスを降りると、前日に雨でも降ったのだろう、道路は少し濡れていた。到着時点での天候は曇り。夏の日差しはなく、古道の散策にはうってつけといえよう。発心門王子社跡で、記念写真を撮り、いざ出発。

今回の熊野古道散策は、バスで山の高い地点まで行き、そこから熊野本宮までの7.5キロを下りながら古の道を体験するというものである。登りがない(若干はある)分、年配者向きのコースになっている。



松の樹林の斜面を人幅だけ削るようにして作られた細い道。落ち葉が積み重なり、木の根が剥き出しになっている。下り坂の道は、雨が降れば、水の道と化すのだろう、真中が掘れて、岩が露出し、石ころだらけ

である。しかも濡れている為、キャラバンシューズを履いていても、滑りそうになる。

もちろん熊野古道のような山道は例外であろうが、古の人々にとって、道は、まさに自然と一体のものであり、最低限の機能・・・人と牛馬と若干の荷物が通る為のもの・・・さえあればそれで足りていたのだろう。アスファルトで舗装された車中心の道路に囲まれた生活の中では、地道を歩くことも少なく、石ころ混じりの、ゴツゴツと足を突き上げる道をうつむき加減に下りながら、何か自然に笑えるほどに歩くことが楽しかった。

途中に看板があり、果無山脈という文字とその説明が書かれていた。看板の向うには、遙か遠くまで山また山・・・、見渡す限りの緑の塊である。

果てしない山々の連なりの中に人家が、斜面にポツリポツリと点在している。自然の大きな広がり反して、平坦な土地が少ないためか、生活空間としての



広がり・・・伸びやかさや感覚としての豊かさ・・・に欠けるようである。山と木々に囲まれた大きな自然の中に暮らす人々の生活の営みは、古道を分断するように走るアスファルト道路やバス停はあっても、蓄積された生活のエネルギーや、人の存在の厚みを感じさせるものが足りず、なんとなく隠国(こもりく)という古称を思い出させるものがあつた。

もちろん、通りすがりの者の印象など表面的なものではなく、実態とはかけ離れているかもしれない。生活場面に、便利さや快適さの形を求めようとする考えそのものが、豊かさに慣れた人間のおごりのようにも思える。生活に何を求めるかは、人それぞれであろうし、個人的な印象を敷衍化する

つもりもない。ただ、小学校の廃校を眺めながら、そこにある生活は、少なくとも今の人々が生活に求める何かに欠けているように思えた。自然と林業という資源に恵まれた紀州の光は、一方で過疎という影を作っているようでもあつた。

古道を下って、ようやく熊野本宮に到着。水分補給は十分だったが、その分、全身は汗みずくになってしまった。とにかく上半身ずぶ濡れ状態。あんなに汗をかいたのは、久しぶりだった。



熊野本宮からバスで、西日本一という露天風呂のある「わたらせ温泉」に案内された。汗まみれの身体がバスの冷房ですっかり冷やされたため、温泉の湯は、気持ち良かった。ただ、着替えを持参しなかったため、温泉の脱衣場でシャツをドライヤーで乾かすはめになり、実に情けない思いであつた。

歩き疲れと、温泉で温まったあとの心地よさと、バスの適度の振動で、しばらくは寝入ってしまった。渋滞に巻き込まれ、やむなく迂回した湾岸線では、臨空花火大会があり、高い高速道路の上から、花火見物も出来た。車中では、ビデオの「釣りバカ日誌」も最後まで見終えることができた。ガイドさんが、「...最後までビデオを見て良かったですね、画面は盛り上がっているのにバスは到着というのが多いんです」と変な幸運を喜んでくれた。それって渋滞のおかげという意味・・・?

知らない人たちと一緒に、知らない場所を歩くことは結構新鮮だった。古の道をたどることが、個人的には、今の自分の何事かを考える機会にもなった。身体は流石に疲れたが、こんな時間があつてもいいなと思った。

参加された皆さん、お疲れ様でした。幹事さん、お世話になりました。又、ご一緒したいです。ありがとうございました。

## 歩こう会9月例会

## 高砂名所めぐり

9月12日(日)午前10時JR宝殿駅南集合

JR宝殿駅南→(1.0k)→武蔵生誕地→(2.0k)→生石(オウソ)神社(日本3奇の1、巨大石造物)→昼食(3.5k)→荒井神社(結びの松)→(2.0k)→十輪寺(高麗仏・宝篋印塔)→(1.0k)→高砂神社(相生の松、謡曲「たかさごや〜」発祥地)→(1.5k)→山陽高砂駅(ゴール)約11キロ、平坦な家族向きコース

申込先: 二宮 Tel./Fax 078-851-1875  
高尾 Tel. ¥Fax 078-241-8122

## 兵庫支部月例会『三金会』会場

毎月第三金曜日午後6時~8時

すなっく

## フリージア

神戸市中央区北長狭通2-5-1  
タイシンサンセットビル6F  
電話078-392-2466



お気軽に下さい

1階は  
がんに寿司

JR元町

JR三宮